

ENETECH INFO

もしもの災害時、あなたの発電所は大丈夫ですか？  
発電所の保険 知っておきたいことを教えます！

太陽光発電設備を設置された際に、何らかの保険にご加入されているケースが大半だと思いますが、契約内容によってその補償内容が限定される場合もあります。万が一の時に困らないよう、確認するポイントをお伝えします。

太陽光発電設備には自然災害保証が重要！

今年は台風の上陸が少なく安心でしたが、2018年・2019年は台風や豪雨被害が多く、被害に遭われた発電事業者の方も多かったのではないのでしょうか？

いつ来てもおかしくない自然災害、やはり、対策として火災保険や動産総合保険などの自然災害保証は重要です。そこで、今回は、発電所の保険に関する部分をクローズアップしてご案内致します。



確認しておきたいポイント～あなたの保険は大丈夫？

①保険証券や保証書はありますか？

契約の証です。まずは加入の有無をご確認ください。

②保険証券や保証書について

保険期間が切れていないか？満期日はいつなのか？

補償内容および金額をご確認ください。

③補償内容の確認 (その1)

水災の補償の有無をご確認ください。  
オプションの場合もありますので要注意。

④補償内容の確認 (その2)

電氣的・機械的の事故の有無をご確認ください。

⑤補償内容の確認 (その3)

免責金額の設定をご確認ください。

補償内容により3万円、5万円など、また保険会社によっても設定は違います。自己負担0万円が望ましいと思います。

万が一の時に困らないよう、今のうちに確認しておきましょう。

続いて、皆様からよくいただく質問をご紹介します。

皆様の疑問にお答えします！

- Q 来年1月から保険料が地域によっては値上がりするそうですが何か対策はないですか？
- A 来年満期を迎える契約は12月中旬に前倒しで更新すると、現在の保険料でのお支払いになりますので保険料負担が軽減できます。その際、現在加入の契約を前倒し契約する更新日で解約をしてください。少しばかりかもしませんが、解約返戻金がでる場合もあります。
- Q 保険期間を複数年で契約したいのですができますか？
- A できます。今後も保険料の値上げが想定されますので、複数年の契約をお勧めしています。
- Q 発電所は火災保険以外にも検討する保険はありますか？
- A 例えば落雷に遭った場合、修理期間中の売電補償をするための休業損害保険や強風でパネルが飛散し第三者に被害をもたらした賠償保険をご検討ください。
- Q エネテック以外で施工した発電所でも保険相談はできますか？
- A できます！他社様で施工されたお客さまでもお気軽にご相談ください。

ここに挙げたこと以外でも、保険で気になることがございましたら、お気軽にエネテックインシュランスサービスにご相談ください。

エネテックインシュランスサービスのご紹介



エネテックインシュランスサービスはエネテックホールディングスグループ内の保険代理店です。住宅用の屋根置き太陽光発電設備からメガ発電所まで、規模の大小問わず、ほとんどあらゆる発電所に関する保険を取り扱っています。他にも、法人・個人の火災・自動車保険・生命保険・医療・がん保険にわたり総合保険代理店としてお客さまのニーズにお応えしております。お気軽にお問い合わせください。

- 住所：名古屋市中村区名駅 1-1-1 JPタワー名古屋 21 階
- 連絡先：052-211-7740
- 担当：鈴木



先進技術の、その先へ。  
ENETECH  
株式会社 エネテック

- 【本社】愛知県小牧市間々27-1
- 【中部支店】名古屋市中区丸の内3丁目17-4 第11KTビル9F
- 【関東支店】さいたま市大宮区三橋3丁目162
- 【関西支店】兵庫県西宮市松原町4-1 西宮ステーションビル3F
- 【金沢営業所】石川県金沢市大観3丁目136 緑樹II 3号室
- 【福岡営業所】福岡県福岡市西区豊浜2-11-16 2F
- 【群馬サービスステーション】群馬県藤岡市藤岡935 レジデンスセシム3F
- 【仙台サービスステーション】宮城県仙台市太白区鉤取2丁目25-1
- 【伊勢サービスステーション】三重県伊勢市藤里町345-3 A棟101号
- 【京都サービスステーション】京都府京都市中京区柳水町84番地 三洋六角ビル505

【お問い合わせ】  
0120-920-137  
info@enetech.co.jp



小型ドローンで  
低圧発電所も！

CONTENTS

- 進化が目まぐるしいドローン技術
- カーポートで太陽光発電
- セカンダリ市場～発電所を高く売却するには？
- 太陽光発電所の保険で知っておきたいこと

2020年  
vol.20  
12月号

どんな不具合も見逃さない！  
ソラパト魂

進化が目まぐるしいドローン技術

ソラパトでは、数年前から太陽光発電所の点検にドローンを活用しております。最初に導入したドローンは、DJI社の「インスパイア」という機種です。



この機種は、ドローンでは中型で4K映像の撮影ができ、カメラを付け替えてIR(サーモグラフィ)画像を撮影することで温度の変化から、様々な発電所の不具合を検出してきました。ちなみにおおよその価格はドローン本体が40万円、IRカメラが80万円の計120万円ほどです。

新しい機種で精度、作業効率も向上

本年新たに導入したのは、大型機の部類になる「マトリス」という機種で、こちらは総額300万円以上になりますが、カメラも複眼(可視光カメラ+IRサーモカメラ)で、動画でも4K映像が撮影できるうえに、高精度のIRカメラで、セル単位のホットスポットが驚くほどくっきりと撮影できます。



本年！新たに導入した大型機「マトリス」

また、バッテリーも2つ搭載できるので、これまで15分程度だったフライト時間が倍の30分以上になり、作業効率もかなり向上しています。

最近では、特高発電所の竣工点検や、年次点検、変わり種では発電所への落雷の範囲の調査など、ドローンの太陽光発電所点検の幅は飛躍的に広がっております。

小型ドローンで低圧発電所も対象に

さらに本年は、京都府との取り組みの中で、小型ドローンを用いた「太陽光発電所の長期安定電源化プロジェクト」も始動しました。

これは本来大型発電所の点検に限られていたドローンの活用を、低圧発電所まで裾野を広げていこうという計画です。ドローンは小型機種である「マビック」という機種を採用しました。



小型機種「MAVIC」

ドローンの進化は目覚ましく、マビックは小型機種でありながら、複眼(可視+IR)であり、可視画像もIR(サーモグラフィ)画像も、かなりきれいに撮影できます。マビックはカメラも含めて約50万円と、他の機種に比べると安価ですが、最低限の不具合検出には全く問題ありません。

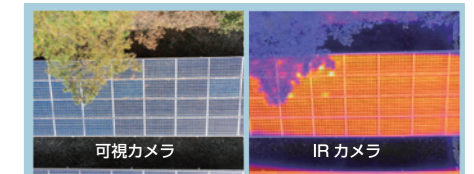
では実際に撮影した画像を見てみましょう。下の画像1は、パネル割れが確認できた可視カメラとIRカメラの撮影画像です。



画像1：小型機で撮影したパネル割れ画像

パネル割れがくっきりと撮影できています。

次の画像2は木の影になっている部分です。こちらも高精度の画像で確認することができ、ホットスポットもよくわかります。



画像2：小型機で撮影した木の影

これまでドローン点検は比較的大型の発電所向けの特別なメニューの位置づけでしたが、今後は小型ドローンを導入し、ソラパトの標準的な点検プランのメニューに加えていく予定です。

さらに、低圧発電所にもドローン点検を組み入れていく予定で、業界でもまだ例のない新しい点検メニューも作成中です。今後のソラパトならびにさらなる新しい点検技術にもご期待ください。

発電設備の「？」はソラパトにご相談ください

私たちソラパトスタッフは「どんな不具合も見逃さない」という気持ちで、お客様の発電設備を点検、メンテナンスさせていただいております。発電所で気になることがございましたら、お気軽にソラパトにご相談ください。



ソラパトスタッフが、日々の活動や不具合事例など、生の情報をご紹介します。  
https://solarpat.com

ソラパトブログ  
で最新情報  
発信中！





PV TREND ①

屋根の上だけじゃない～広がる自家消費

カーポートで太陽光発電

脱炭素化が進む中、再エネシフトは避けて通れない課題であり、自家消費に積極的に取り組む、あるいは取り組まざるを得ないと考える企業様も増えています。太陽光発電を始めたいが「屋根が無い」・・・今回は、そんなお悩みを解決するヒントとなるような情報をお伝えします。

屋根上だけじゃない自家消費太陽光

自家消費という「屋根上」のイメージがありますが、野立てや水上などの大型発電設備を利用した自家消費もありますし、壁面や窓ガラスなどを使用するなど、様々な形態があります。



弊社でも多くのお客様から自家消費の相談を受ける中で、強度や面積、影などの問題で「屋根の上に設置できない」という場合も少なくありません。その場合はお客様に周辺環境などもヒアリングさせていただき、屋根以外の太陽光発電設備も検討、ご提案させていただいています。

遊休地があれば野立ての発電所という選択肢もありますが、皆さんがお持ちというわけではありません。では遊休地は無くても駐車場はどうでしょうか？

今回は屋根上以外の選択肢の1つとして「カーポート」についてお話しします。

カーポートは建築基準法上、建築物扱い

カーポートで太陽光発電という、住宅用のイメージが強いかも知れませんが、商業施設のプレミアムアウトレットでは、数年前から駐車場に1MW規模の太陽光発電設備を全量自家消費で運用しています。

また、今年の3月には株式会社村田製作所様が「1,200台分の駐車場型メガソーラーシステムを導入し、今後も拡大していく意向とのニュースリリースを出されました。パネル8,010枚、システム容量2,403kWの設備は

壮観です。(ネットで検索してみてください)この発電設備はFIT(売電)とのことですが、投資回収が見込める設備だそうです。

カーポートで太陽光発電を行おうと検討する場合、法規面での制約が大きいということが重要なポイントとなります。架台の下を作業や倉庫など何らかの屋内的用途に活用する場合は(一定条件を満たす農業利用を除いて)建築基準法上の建築物となり、それがコストや時間に大きく影響します。構造の強度の確保はもちろんですが、建築確認申請の対象になると、そのための費用や時間が必要ですし、施工コストも高くなることを見込んで検討しなくてはならないのです。条件により変わりますが、施工場所によるコストを比較すると、下のような順番になるかと思えます。

屋根上 < 野立て < 水上 < カーポート

カーポートはコストがかかるということなんです。しかし、平地の駐車場にカーポート



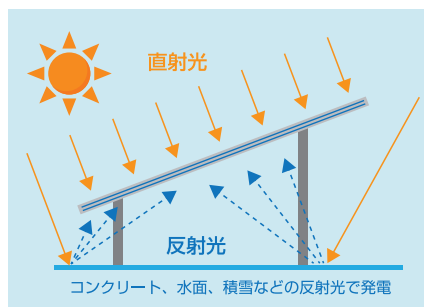
を新設となれば、発電によるコストダウンや環境貢献だけでなく、雨や日差しを遮ることができ、お客様へのサービス向上や従業員の福利厚生面でのメリットも期待できます。とはいえ、やはり「採算」は気になる場所です。

両面発電モジュールで発電量がUP

先述の村田製作所の設備は両面発電モジュール(パネル)



を採用し、発電効率を上げていくとのこと。両面で発電するから発



電量が倍になる!というわけではありませんが、かなりの発電量のUPが見込めます。水上の発電設備の場合は、発電効率に加え防止面で優れる両面モジュールを採用する機会が多く見られます。また、カーポートにおいても、両面モジュールに対応した架台も商品化されており、今後は広がっていくのではないのでしょうか。カーポートに関するご相談も増えてきており、コストや環境面のシミュレーションをベースに検討に値するご提案をさせていただいております。

新たな技術で可能性も広がる

両面モジュールは以前からありますが、発電効率を向上させる新たな技術や素材、また新たな形状の太陽電池も開発されています。例えば、繊維状の太陽電池が一般的になれば、耐荷重の検討や架台自体が不要になるかもしれません。

両面モジュールもそうですが、高性能化、低価格化が進めば、設置における制約やコスト面での導入のハードルが下がります。

脱炭素社会へのシフトが進む中、こういった新たな技術により太陽光発電の拡大はより加速していくと予想されます。

エネテックは新たな情報や製品などにもアンテナを伸ばし、お客様に最高品質のサービスをお届けいたします。

失敗しない再エネシフト、ぜひエネテックにご相談ください。

PV TREND ②



株式会社エネテック 法人営業部 濱口

株式会社エネテック 法人営業部 藤井

活性化するセカンダリ市場 発電所を高く売却するには

前号のセカンダリ市場に関する記事に多くのお問い合わせをいただき、あらためて関心の高さを実感しました。今回はエネテック営業部の2人に売却時のポイントなどを聞いてみました。

買取と仲介はどう違う?

—最近、発電所売却の相談が多いと聞きましたが、どんな方から相談がありますか?

濱口:傾向として発電所の規模で異なります。低圧の方は「売れるのかな?」ということ、売るとしたらいくらぐらいの金額なのかまず知りたい、そして金額次第で売却に積極的になるという場合が多いです。高圧の方は施工した業者さんや買取業者さんから既に金額を提示されていて、より高い査定額を期待しての問い合わせが多いと感じています。

藤井:当たり前の話ですが、少しでも高く売りたい、またお客様によっては出来るだけ早く、というのがお客様のご希望です。

—エネテックは仲介がメインと聞きましたが、買取と仲介、売る側にはどちらが良いですか?

濱口:現金化までのスピードを考えると、買取の方が一般的に早いと思います。ただ、言葉は悪いですが「買い叩かれる」といいますか、買取金額が適正額よりも低いという場合もあるようなので、複数業者に査定を依頼することをお勧めします。

一方、仲介の場合は、買主が決まってからの売買になりますので、売却までの時間はかかるかもしれません。というのが規範回答ですかね(笑)

藤井:エネテックの場合は、多くの買いたいというお客様をお待ちいただいている状態ですので、売買成立までの時間は早く、中にはお話をいただいて〇週間で契約が完了したという例もあるんです。また、エネテックの仲介は、万が一不具合などが発生しても、エネテック(ソラパト)が対応いたしますので、売る側、買う側とも安心いただけると思います。

—買う側も安心なので、早く契約が成立するというわけですね。

藤井:はい。「エネテックさんがしっかり点検した発電所は安心して購入できます」と言ってもらえるのがありがたいですね。

発電所を高く売るには?

—発電所の査定額はどのように算出するのですか?

濱口:その発電所の発電実績とFIT終了までの期間から売電利益を算出し、その数字を元に査定額を決めます。次のオーナー=買主さんの利回りを(例えば10%)想定し販売するのが一般的だと思います。

—なるほど。ということはどの買取や仲介業者でも査定額にはあまり差が無いということでしょうか?

濱口:業者がどれくらい利益を見込むか?ということが変わってくると思います。また、間に何社も入る場合もあるようですので、その場合は買取の価格は低く設定されてしまうでしょうね。

藤井:弊社の場合、前号の記事にもありましたが、投資目的だけでなく、FIT終了後の発電も見込んで購入するお客様もいらっしゃるの、他の業者さんよりも高い価格での売買となる可能性があります。

—ソラパトのノウハウがあるから高く査定できるというお話も聞いたのですが...

藤井:はい。発電所に何らかの不具合があって設計通りの発電が出来ていない場合などですね。ソラパトは発電実績だけでなく、本来の発電能力が高いと判断できれば、是正することもできますし、その発電所のポテンシャルを考慮した値付けをさせていただきます。

—発電所を高く売却するノウハウを聞き出そうと思ったのですが「エネテックに相談」というのがお2人の答えのようですね(笑)

濱口:どこよりも高いです!と断言は出来ませんが、しっかりと査定させていただきますので、お声がけいただけると嬉しいですね。

藤井:条件次第では売却しようかな?くらいの方でもお気軽にお問い合わせください。また、既に他の業者さんから金額を提示されている場合でも、セカンドオピニオン的に聞いていただければと思います。



電気・太陽光のプロが査定するあんしん

査定、売買もソラパトにお任せください!

- O&Mのプロだからできる高値査定
- 信頼査定で売却もスムーズ
- 故障した発電所も高値査定

☎0120-920-137 <https://solarpat.com> ソラパト 検索

発電所や遊休地の売却もエネテックへ

条件次第では売却・転売を検討したいという方も、お気軽にお問い合わせください。